

コード	402020801
記入日:	H22.6.3

## 事務事業途中評価表

課コード	115
課名	農林課
課長名	田本耕一
担当者	浜辺伊三美

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	農業委員会管理事業
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1		
基本事業コード	40202	基本事業名称	農地の保全と有効利用	目コード	1		
事務事業コード	4020208	事務事業名称	農業委員会管理事業費	細目コード	705		
関連計画		法令・条例規則等	農業委員会等に関する法律、新上五島町農業委員会設置規則				

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1) 町農業委員		(対象指標1) 24人					
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	総会を月1回開催 事業費内訳:報酬、旅費、需用費、負担金	*****	*****	*****	総会開催実績12回/総会開催計画12回	*****	
		①	総会回数	12回	100%	平成21年度	
		(達成率分析)	召集した総会は予定通り開催された。				
*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	
(達成率分析)							
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
農業委員会の運営を円滑に行うことで、農業生産力の発展及び農民の地位向上に寄与することを目的とする。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	決議数22件/議案数22件	*****	
		①	議案数	22件	100%	平成21年度	
(達成率分析)	提出した議案について決議された。						
*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	
(達成率分析)							

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	①	回	48	48	36	12	12				
	②										
成果指標	①	件	99	99	77	22	22				
	②										
総事業費C (A+B)	千円	70,932	70,932	52,971	17,961	17,961					
直接事業費 A	千円	21,932	21,932	17,971	3,961	3,961					
人件費 B	千円	49,000	49,000	35,000	14,000	14,000					
内訳	従事職員数	人	7.0	7.0	5.0	2.0	2.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	12,117	12,117	10,161	1,956	1,956				
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	58,815	58,815	42,810	16,005	16,005					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 農業委員会等に関する法律により設置しなければならない。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 今後もますます役割が重要になってくる。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 農家のよき相談相手として成果があがっている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 現制度にて充分である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 法律により、この事業を行わないことはできない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由 法的に設置しているので統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 直接事業費のほとんどは委員報酬であり、すでに全国でも最低レベルまで下げているので削減は困難。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 現在の人件費を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	1次評価のとおり
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。